

東大野球部 メールマガジン

VOL
133

〇いあひつ

早いものでもう師走となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

先日、本年度最後のオープン戦が終了しました。序盤で大量失点を喫し、終盤の反撃も及ばず、敗北という結果となりました。寒い中東大球場に足をお運び下さった皆様、誠にありがとうございました。

この試合で発見したチームの課題、そして個人の課題を克服し、来年度のオープン戦に繋げて参ります。

今後とも東大野球部をどうぞよろしくお願い致します。



〇今回の特集「あの人に一言！」

今回の特集は、「あの人に一言！」です。同期や後輩、先輩や監督など、野球部の人に伝えたいこと、内心思っていることなどを綴ってもらいました！

吉川 慶太郎（3年・投手・城北）

僕が一言言いたい人は、同じ投手で1年の福井君（1年・投手・駒場東邦）です。投手陣は仲が良くあまり上下関係が厳しくないですが、福井君は僕のことを友達と勘違いしているようです。僕はあまり気にしない方なので怒りませんが、学生コーチの福田（3年・学生コーチ・時習館）に同じような態度で接したら今後口を聞いてもらえなくなりますよ。なので福井君には「先輩はちゃんと尊敬しよう」ということを言いたいです！



宮崎 陽輔（2年・内野手・国立）

水島選手（2年・内野手・洛星）について書きまします。彼とは同期で同じポジションということですが、リ

ーグ戦や新人戦等での彼の活躍を悔しさや羨ましさといった感情を抱きながら見てきました。

そんな水島は4人兄弟の末っ子で時折末っ子らしさを発揮するのですが、本人はそのことを気にしているらしく、「末っ子っぽい」と言っと少し凹む、かわいー一面も持っています。



伊藤 一志（1年・投手・東海）

1984年8月、小学2年の時、私は初めてプロ野球観戦に行きました。ナゴヤ球場での中日対横浜大洋戦です。その時ファーストを守っていらっしやったのが、現在東大野球部でコーチをして下さっている谷沢健一さんです。

谷沢さんは東大球場に来てくださるたびに声をかけてくださいます。何十年という時を経て、小さい時声を囁らして応援したスター選手からご指導をいただけるとは、なんとも不思議なご縁です。谷沢さんのご指導にも応えられるよう冬のトレーニングに励んでいきます。皆様応援のほどよろしくお願ひいたします。



平田 壮輝（1年・内野手・甲陽学院）

僕が選ぶ人は下雅意拓哉さん（3年・捕手・甲陽学院）です。下雅意さんは甲陽学院の先輩でもあります。顔はもちろんですが、なんととっても苗字がかっこよすぎます。しかもさらにキャラを求め、破天荒キャラにも手を出していたそうです。普段はそんな気さくな人ですが、野球に関してはアドバイスをしてくれたり、バットやバット手をくれたり、とても真面目で優しい人です。僕も下雅意さんのようにシユアなバッティングが出来るように頑張ります。



編集後記

今回の特集はいかがでしたでしょうか。普段は口に出すことはなくても、それぞれが同期や先輩、後輩そしてご指導いただいている方に感謝や尊敬の気持ちを抱いているようですね。そういった気持ちがプレーの原動力となり、彼らの飛躍に繋がることでしょう。

次回のメールマガジンの特集は「寮生活」です。寮生活を通して、集団生活や相部屋の人に思うことなどを、新しい入寮生に聞く予定です。どうぞご期待ください！

今後とも、東大野球部をよろしくお願い致します。

お問い合わせ先

〒113-0023

東京都文京区向ヶ丘 1-5-9 一誠寮

Tel&Fax 03-3811-5100

メールアドレス office@tokyo-bbc.net

メルマガについてのご意見、配信停止のご希望等

ございましたら上記連絡先までご連絡下さい。